

龍谷顕真会会報

もくじ

第1回海外視察 写真グラフ	1・2
海外視察レポート「ハワイに学ぶ」	3～9
平成5年度 会員活動報告	10～15
平成5年度 総会報告	15・16
世話人会報告、会員の動静	16



ホノルル到着後、ヌアヌ・パリで

ことしは本会が結成されて20年目になる。5月26日の総会の前夜、その祝賀会が開催される。夫人同伴での参加を呼びかけることになっているので、賑やかな宴になりそうだ▼本会結成の最大の契機は、参議院の全国区選挙だった。政治と一線を画すことを「美徳」とする僧侶が多い中で、地方自治体の首長・議員をつとめる僧侶たちは49年の4月に76人が集まって本会を結成した後、宗門の代表を国会におくるべく選挙に取り組んだ▼20年を経た現在、宗門の代表を国会におくろうといった声は聞かれない。全国区もなくなった。それどころか、昨年の連合政権の誕生で政治状況はがらりと変わってしまった。まさに「政治の世界は一寸先は闇」のことわざ通りである▼政界再編も避けられそうにない。会員もその大きなうねりにいやおうなくまきこまれることは間違いない。だが、会員はうねりの中にあっても翻弄されることはないものと思う。なぜならそのスタンスが単なる政治の論理ではなく「ただ念仏のみぞまこと」だからである。在家仏教の僧侶ならではの視点とパワーでポスト55年体制崩壊後の地方政治のあり方を模索して頂きたい。

(N)

海外視察写真グラフ



中西開教総長の歓迎あいさつ



ホノルル市長を囲んで



クルーズ船内でのディナー



ハワイ別院の納骨堂を視察



リゾート気分を満喫



“さよならパーティ” 明日は帰路に

「ハワイに学ぶ」

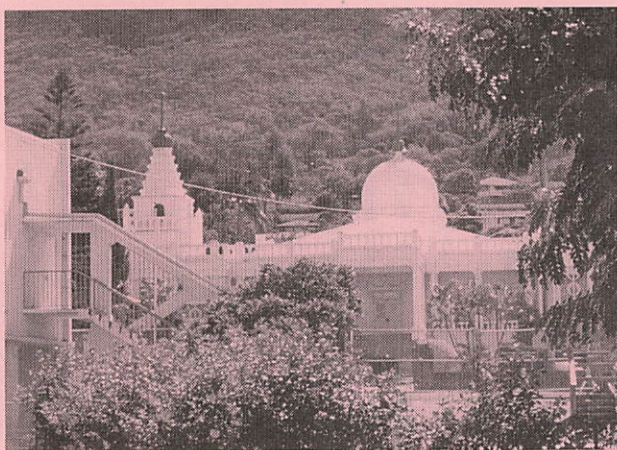
長年の懸案だった海外視察の第一回を平成五年十月十八日から二十三日までの六日間実施いたしました。参加者は会員、寺族、門徒併せて十二人。訪問先はアメリカ合衆国ハワイ。この地の行政の現状を学ぶとともに、本願寺教団の海外開教にご尽力された先達のご苦労をお偲びする意義深い視察になりました。主な日程はハワイ別院の参拝をはじめ、ミッションスクール見学、州知事・ホノルル市長の表敬訪問、クアキニ病院・養老院、ホスピス病棟の視察などを行いました。そこで参加者レポートを掲載、視察報告とさせていただきます。

これから毎年実施を

山口県議 藤谷 光信

昨年の平成五年十月十八日、私たちは龍谷顕真会の海外視察研修としてハワイを訪問しました。これまでも海外視察については総会並びに世話人会で幾度となく話し合われましたが、ようやく今回、みなさんのご賛同を得まして実行することができたのです。実現することができたのも、会員の皆様をはじめ、本山総局、広報部の方、関係者の皆様のお陰によるものと感謝にたえません。

視察団の団長には私が選ばれ、十八日、私たち一行十二人は大阪空港をノースウエスト機で出発しました。夕方に発ちましたが、日付変更線がありますので、同じ日の朝六時半



“ホワイテンプル”とよばれているハワイ別院の全景

にはホノルル空港に到着したのです。私たちは専用バスでまずハワイ別院に向かいました。ハワイには本願寺の寺院が三十六ありますが、それが連合してハワイ開教区・ハワイ教団をつくっています。現在ハワイは世界的な大観光地ですが、その一方で私たちは日本人の先輩たちが大変な苦勞をして、今日のハワイの発展に大きな貢献をしてきました。記録によりますと、ハワイ開教は明治二十二年から始められたとあり、すでに百五年がたっているわけです。ハワイ別院はホノルル市のパリハイウェイ添いに建つ白い建物で、一般の市民からは“ホワイテンプル”と呼ばれて親しまれています。別院は明治三十三年に建立され、その初代輪番の今村恵猛氏の胸像が本堂の前に建っていました。

パリハイウェイの向かい側にはハワイ教団が経営するフォート学園という学校があります。ここは本願寺ミッションスクールとも呼ばれ、日本語学校と幼稚園が併設されています。私たちは先生の案内で幼稚園、小学校、中学校を見せていただきましたが、現在ではもう日系三世、四世の人たちの学問の場になっています。ちょうどお昼どきで、子供たちが昼食をとっていました。私は幼稚園の園長もしていますので、大変関心があり、子供たちの中にはいつて話をさせていただきました。その日の午後は市内観光で、ヌアヌ・パリ

やドルパインナップル工場などを見学し、夜はディナーショーで夕食。期間中の私たちのホテルはハワイアンリージェントホテルで、ビーチの近くにあり、ダイヤモンドヘッドが正面に見えました。

翌日十九日は、ハワイ開教総長の中西利正氏のご案内でハワイ州知事を表敬訪問いたしました。私たちの龍谷顕真会は本願寺派の僧侶で、地方議会の議員・首長をしている人の会ですので、この州知事訪問というのは、大変重要な関心の高いものでした。ちょうど州知事が出張のためご不在で、知事補佐官のジョン内間さんが私たちに親しくハワイ州の様子などをお話くださいました。中西開教総長さんが通訳をされ、議場、法案に署名する部屋、陳情を受ける部屋などを見学させていただきました。ハワイの行政の様子を肌で感じることができました。

それから引き続いて私たちはホノルル市役所を訪問しました。ホノルル市役所は四階建ての大変古い立派な建物で、中は吹き抜ける中庭になっていて、いろいろな記念品が展示してありました。市長のフランク・ファッシー氏が自ら迎えに出て来られまして、市長室でお話を伺いました。市長は名前のとおり大変フランクな人で、冗談を言ったりしながら一緒に写真を撮ったりして、歓迎してくださり、私たちも大変感激した次第です。アメリカと

日本の行政の仕組みには相当な違いもありますが、市民や県民のために働くということでは共通していて、大いに参考になりました。

さらに、午後からはクアキニ病院と養老院を視察しました。クアキニ病院は明治二十五年に設立された日本人慈善協会が母体で、明治三十三年に日本人移民のための病院として開設されたそうです。大正六年に現在地に移り、日本人病院と称し、昭和六年にハレプラママウという養老院を併設しました。公益法人クアキニ財団が経営をし、歴代の理事長には日系人が就任しているそうです。緊急入院用のベッド数が二百五十で、ハワイの最も大きな総合病院のひとつに発展しています。

引き続き聖フランシス・ホスピス病棟を視察いたしました。この病棟の正式名称はシスター・モウリン・ケレハー・センターで、キリスト教団体が経営する末期患者の収容施設です。余命があと六ヵ月以内の患者が安らかに死を迎えることができるようにできた施設です。外から見ると、熱帯樹が植えられている手入れの行き届いた庭に囲まれたごく普通の民家のようなですが、なかに入りますと大変静かで、職員の方もきびきびとしていました。院長はシスターの方で、くわしく話を聞かせていただきました。手作りのジュースをいただきながら、家庭的な雰囲気をもどくようにするか、医学的な治療よりも精神的

参 加 者 名 簿

(年齢は平成5年10月18日現在)

	名 前	役 職	所 属 寺	年 齢
団 長	藤 谷 光 信	山口県議	山口・岩国・教蓮寺	住職 56歳
	藤 谷 允 子	坊 守	"	寺族 50歳
	十 川 輝 生		"	門徒 65歳
	十 川 春 子		"	門徒 62歳
	上 村 ヨシ子		"	門徒 81歳
	末 武 百合子		山口・都濃東・浄蓮寺	寺族 68歳
	小 泉 玲 子	兵庫県御津町議	兵庫・網干・浄泉寺	衆徒 61歳
	小 泉 信	僧 侶	"	住職 37歳
	藤 谷 一 剣	島根県四見町議	山陰・益田・蓮長寺	住職 48歳
	荒 木 行 也	福岡県高田町議	福岡・三門南・阿弥陀寺	住職 51歳
	荒 木 邦 枝	坊 守	"	寺族 49歳
	事務局 前 田 智 教	広報部主事	兵庫・阪神西・西福寺	衆徒 34歳

な苦痛の軽減、看護を重視していることなど、参加者一同、非常に感激して病棟をあとにしました。

二十日はハワイで最も有名なビショップ博物館を見学しました。ハワイの古い民芸品、民族品、生活雑器などが学問的に展示されていて、原住民の文物、移民が持って来た西洋・日本・中国各地の文物など、ハワイの歴史が一目でわかるようになっていきます。現在では

「ハワイ州立自然文化歴史博物館」という名称もあり、自然科学の研究機関としても世界的に有名です。十月二十二日早朝、私たちはハワイを後にし、日付変更線の関係で二十三日の昼に大阪空港に到着しました。

私たちは第一回の海外視察研修をハワイ開教区で実施し、まずは成功裏に終わりました。私は日本人で海外で活躍されている人たちを通して、また視察を通して海外の行政のあり方などを勉強し続けていきたいと思っています。

幸い、いま本願寺教団にはアメリカに北米開教区、カナダ開教区、南米開教区があり、オーストラリア、ヨーロッパにも寺院があります。せっかく私たちは宗門に所属していますので、これらの開教区と親しく関係を持ちながら、海外の行政の様子などを視察、研修する機会をこれからももっていきたいと思っていますのです。また、韓国や中国は地理的に近い場所であり、各自自治体などでも視察、研修を行っています。また、龍谷顕真会として県市町村の議員の枠をこえて視察にいくことは、これからの私たちにとって大いに得るところがあるのではないかと思います。今回の成果を踏まえ、二回、三回と海外視察研修が企画されることと思いますので、これからの皆様の参加を心からお待ちしています。

海外視察日程

第1日目 10月18日(月)

現地時間	場 所	行 程
午後4:00 6:00	大阪 空港	集合、結団式 大阪空港出発、空路ホノルルへ (ノースウエスト16便)
午前6:35 9:30	ホノルル ハワイ別院 ミッションスクール	ホノルル空港到着 ◎ ハワイ別院参拝 ◎ 本願寺ミッションスクール(日本語学校・幼稚園)を見学
午後1:30 4:00 午後5:30		市内観光(ドール・バイナップル工場、ヌアヌ・バリなど) ハワイアンリージェントホテル到着 夕食・ハワイアンディナーショー 宿泊(ハワイアンリージェントホテル)

第2日目 10月19日(火)

現地時間	場 所	行 程
午前10:00 -10:45	ハワイ州庁舎	◎ ハワイ州知事表敬訪問 (知事が不在のため内間ジョン補佐官が応待)
午前11:15 -11:45	ホノルル市庁舎	◎ ホノルル市長(フランク・ファッシ氏)を表敬訪問
午後1:00 -2:00	クアニキ病院・養老院	◎ クアニキ病院・養老院視察
午後2:30 -4:00	ホスピス病棟	◎ 聖フランシス・ホスピス病棟視察 宿泊

第3日目 10月20日(水)

現地時間	場 所	行 程
午前9:00 -10:30 午前11:00 -12:00	ビショップ博物館 真 珠 湾	◎ ビショップ博物館見学 ◎ 真珠湾見学 午後 自由行動 宿 泊

第4日目 10月21日(木)

現地時間	場 所	行 程
午後6:30		終日 自由行動 夕食サヨナラパーティー 宿 泊

第5日目 10月22日(金)

現地時間	場 所	行 程
午前6:00 9:10		ホテル出発、ホノルル空港へ ホノルル出発、空路帰路へ (ノースウエスト15便)

第6日目 10月23日(土)

現地時間	場 所	行 程
午後0:45	大阪 空港	大阪空港帰着、解団式 解 散

開教の先達を偲ぶ

島根県匹見町議 藤谷 一剣

十月十八日午後六時過ぎに大阪国際空港を私たち龍谷顕真会ハワイ視察団十二名を乗せたノースウエスト十六便は出発しました。機内はどこを見ても新婚カップルばかり、あてられ通しでした。夜明けの午前六時半定刻通りホノルル空港に到着。入国手続きが終了したあと、一人ずつレイをかけて貰いハワイ到着を歓迎されました。日本を出発する時は肌寒い気候でしたが、汗ばむくらいで、お互いの首にかかったレイを見てハワイを実感したことです。

ハワイ別院に参拝するには時間が早いので裏オアフへ抜けるバリハイウェイを上った峠、ヌアヌ・パリへと向かいました。ここは風の名所といわれるところで、コオラウ山脈の切れ目にあたり、常に北東からの強風が吹き抜けています。また、カメハメハ大王がハワイ諸島制覇を成し遂げた最後の古戦場としても有名で、峠からの眺めもすばらしいものがありました。

バリハイウェイも日本と同じで通勤の車の列で渋滞、車を見ると日本車も多く見うけられました。中国、ニュージーランドでも多くの

日本車が目につきましたが、ここに来て日本の不況が続いているなか、円高による車業界の不振のこと、反面、海外旅行の増加、米の問題等、ハワイのバスの中で渋滞中の車を見ながら地方議会の一員として考えさせられるものがありました。

バリハイウェイをヌアヌ・パリから下っていくと左手にひときわ目立つ白い建物、それが私たちのハワイ別院で、ホノルル市民からは通称「ホワイトテンプル」と呼ばれているそうです。

ハワイ開教総長中西利正師と藤谷光信団長以下、挨拶を交した後、本堂において、中西総長導師のもと、団員全員で讃仏偈のお勤めをさせていただきました。外陣は教会と同様の机、椅子式で、ここでもハワイを感じました。別院内を案内して頂きました。中心は本堂で、向かって右側には別院の事務所、左側がハワイ教団の事務を司る教団本部となっていました。納骨堂も併設され、本堂の地下は多目的ホールとして色々の行事に使われているそうです。ハワイには現在三十六の本願寺派寺院があり、ハワイにおける親鸞聖人のみ教えを伝える活動は、明治二十二年から始められたそうです。明治三十三年に本堂が建立され今村恵猛師が初代輪番に就任され、各地出張所での布教の傍ら、諸種の慈善救済運動を積極的に行い、飛躍的に教団が形成され



別院の付属幼稚園を訪問

て、浄土真宗のみ教えが各島各地に広がったそうです。現在、本堂の前にある胸像は、今村輪番のものであり、初代のご苦労と功績を讃えて建立されたものと思われます。

また、開教本部の事務所には初代今村輪番をはじめ歴代輪番の写真、肖像画がかかっています。中西総長より説明をいただきましたが、各々の時代、それ相当の御苦労があり、その歴史の上に現在のハワイ教団があることを思うにつけ、歴代輪番方に深い敬意の念を抱かずにはおれません。現在ハワイ教団は北米開教区に次いで、信徒数七万人を数えるに至っています。ハワイ別院の教化活動は、日曜礼拝を中心に各種法務の他、婦人会、日校YBA、スカウト、老人クラブ、

文化クラブなどが盛んに行われているそうです。また、今の五カ年のテーマは「全員伝道」であり、本年度の教団の標語は「報謝で広めよう念仏の輪」だそうで、何か日本のテレビ番組を思い出します。また、文書伝道、ラジオ放送、日本語学校、病院、養護老人ホーム訪問、カウンセリング等の対社会活動も大きなウェイトを占めているそうです。

ハワイ別院を後にして、パリハイウェイをはさんだ向い側にある本願寺ミッシェンスクール（フォート学園）が次の視察でした。ここも中西総長に案内していただきました。学校の説明は先生にさせていただきましたが、日本語の話せる先生もおられ、私たちとしても大変助かりました。また、中西総長の通訳により、よりわかりやすく説明を受けました。現在は三歳から八歳までの子供たちが学んでいます。更に上のクラス受入れのため、増築中でした。別院には礼拝のためパリハイウェイの下を地下道で結んであり、小さい子供たちにとって、安心して別院への行き来が出来る心使いを感じました。子供たちの昼食は給食でしたが、お弁当持参の子供も数人見かけました。ふと腕時計を見ると十九日の午前七時、ホノルルは十八日の正午、昨夜日付変更線を越えたので一日得をしたような感じです。でも日本へ帰る時間は、一日損になるので同じことか…

ところ変われば人も

福岡県高田町議 荒木 行也

龍谷顕真会海外視察（ハワイ）第二日目、十月十九日の午前十時にハワイ州知事を表敬訪問しました。州知事が不在であったため、ジョン内閣補佐官が対応してくださいました。

私たちが州知事室に案内していただき、日常、知事がサインに使っているというものと



ハワイ州庁・ジョン内閣補佐官と懇談

同様のボールペンを一本ずつ手渡ししていただき、にこやかに対応して下さいました。

日本においては知事等にお会いするときは、ノーネクタイでは失礼だから、必ずスーツにネクタイ姿で訪問いたします。しかし、補佐官はボロシャツにブレザー姿で、非常にリラックスした様子でしたので、私たちも気楽にお話することができたことが印象に残っています。また、一人ずつ州知事の執務机に座って記念写真を撮らせていただき、感激しました。

次にフランク・ファッシ ホノルル市長を表敬訪問しました。市庁舎は大変古い建物のようでしたが、驚いたのは、庁舎の中央部が全部吹き抜けになっていて、周りに部屋があるという建築様式でした。雨が降り込む時はどうするのだろうかとなりました。

市長のご子息は日本の大学を出ているようで、大変な親日家の方でした。

残念だったのは、市議会議事堂や市役所の仕事をしているところがどうなっているのかが最後までわからないままで、今でもどうなっているのだろうかと思っています。

私は初めてのハワイでしたが、同行のみなさま方に大変お世話になりました、おかげで楽しい海外視察をさせていただきましたことを心からお礼申し上げます。

ホスピス病棟を視察して

兵庫御津町議

小泉 玲子

初めてのハワイ訪問、ハワイの概要に一夜漬けて目を通し、紺碧の空、さわやかな涼風、照りつける太陽、陽気な人びと、というイメージをえがきながらハワイの大地を踏みました。

今回の視察は、本願寺ハワイ別院、ミッションスクールの見学、州知事、ホノルル市長の表敬訪問、社会福祉施設の見学が主なものでした。社会福祉施設を併設するクアキニ病院は、小高い丘の上にあり、青い空とグリーン芝生によく調和した白い美しい建物です。屋上のドームは、天皇陛下から送られたものでこの病院のシンボルだそうです。再三建てかえられたが、このシンボルだけは当時の



ホスピス病棟の院長と

ものを受けついでいるとのことでした。創設は古く一九〇〇年一月の頃、日本人町に大火事があり何千人という負傷者が出て、その時の治療のために建てられたベット数三十八の診療所だったようです。今でも土地の人たちからはジャパニーズホスピタルと親しまれているそうです。大正六年に現在地に移り、施設、設備も充実し、看護婦学校を併設する等、今ではハワイ有数の大総合病院となっています。広いロビーを通り、係の方の説明を聞きながら治療棟を見学させて頂きました。(病室はプライバシー保護のため見学できません)どの室にも大きなCTスキャンや、レーザーシステム、コンピューター、X線装置など最新の医療器機が設置され、病院にあまり縁のない私は、威圧感さえ受けるほど、すばらしく設備のよい病院でした。

たまたま検査のためにベッドに横になっておられるご婦人とお話することになりました。広島出身の方で八十歳を過ぎておられるとか。さすがハワイ。この方たちのご苦労に頭が下がりました。現在病院の理事長は梶原さんといわれる方ですが、歴代理事長は日系人がされているそうです。

病院を出て、隣接する養老院を尋ねました。またこは、病院とガラリと雰囲気が変わり厚いじゅうたンを敷きつめたロビーは、まるでホテルのようです。一階の集会室にはお内

仏があり、本願寺派のお荘厳でした。海を越えたこの地に、立派にお念仏の火が深く継承されていることに感激して一同お念仏を申しました。

一九三二年にたくさん日本人移民が定年を迎え、その機会にこの養老院ができたそうです。二階にはブレイルームがあり、多くの方々が機能回復をしておられました。折紙をしたり絵をかいいたり指先を動かしておられる姿は日本とあまり変わりませんでした。ここで感激したことは、山口県出身の方が二人もおられたこと、しかも今回の団長の藤谷先生のお近くの出身と聞いてびっくりしました。久しぶりにつかわれる日本語、時に山口弁の会話に涙してなつかしんでおられる姿を見てとても感動いたしました。私はそっと腕輪念珠をはずして、そのおばあさんにあげました。幾度も幾度もお礼をいって下さり、手を合わせて私共を送って下さいました。

今回のハワイ訪問、ほんとに有意義な時間でした。ハワイの歴史、文化、経済などにも興味をもつことができ、現地の方々との会話を通して、ほんの少しでしたがふれ合いができたこと、ほんとうにうれしく思います。これも私たちのために終始行動を共にして下さい、通訳して下さい本願寺ハワイ別院の中西総長様のおかげとほんとうに感謝いたしております。

常夏の国ハワイをおかげさまで満喫させて頂き、すばらしい六日間を送ることができました。

企画して下さった関係の方々、今回の団長藤谷先生、広報部の前田さん、ご一緒させて頂いた皆々様に厚くお礼申し上げます。合掌

鼻血タラタラ頑張りました

広報部員 前田 智教

長年の懸案であった海外視察研修の第一回が実施された。いくども断念、変更をくりかえしたうえの、ようやくの実現である。十月十八日から二十三日までの四泊六日。場所はハワイ開教区・オアフ島。一行は山口県会議員の藤谷光信先生を団長に総勢十二人。その内わけは僧侶が六人、寺族・ご門徒が六人という少人数であった。

募集定員十五人なので、あと二、三人でも減ると事務局としては中止せざるをえなくなる。出発直前まで欠員の出来ないことを切に願いながらの決行であった。第一回ということもあって、地方議会の首長・議員を務める顕真会員の研修にふさわしい視察旅行にしたいと何度も検討、調整を重ねて今回の日程ができあがった(日程表参照)。

本願寺ハワイ別院参拝をはじめ、ハワイ州

知事並びにホノルル市長を表敬訪問、本願寺ミッションスクール(日本語学校、幼稚園)見学、クアキニ病院・養老院・ホスピス病棟の諸施設の視察などが主な目的である。もちろん市内観光や自由時間も取り入れて、常夏のリゾート・ハワイの雰囲気も十分に楽しむこともできた。現在のハワイは日系三世・四世の世代であるが、日系人はハワイの社会でも重要な位置を占めている。

別院参拝の時には、ラフな格好から布袍、輪袈裟に着がえた会員に対して「やはり本山の先生方ですね。ご一緒できて本当にうれしいです」と門徒の参加者方のおほめの言葉で、自分たちがここでは外国人であり、宗門の団体であることをあらためて実感した。

さらに、ハワイ州政庁やホノルル市庁舎では、補佐官や市長の私たちに對する気さくでおおらかな歓迎にも感激した。私たち日本人は公の場では改まり、言葉を選んで話をするのが習慣になっている。ラフな服装で冗談を言ったり笑いながら話をされる補佐官や市長の様子は、やはり文化、習慣の違いであろうと驚いた。中西ハワイ開教総長の「この国では誰に対しても遠慮なく、思ったことをいうのです。補佐官や市長もいけないうる人にはつきりノーと言います。日本人は、相手に失礼かどうかをまず考えて、躊躇しすぎですから」という言葉が印象的だった。

クアキニ病院・養老院、聖フランシス・ホスピス病棟の見学では、私たちがふれることのできたのは、ごく少数の人たちではあったが、異国の地で生活している人たちの現実と、そのご苦労をほんの少しでもかいま見ることができた。

少人数であったため、非常にアットホームな雰囲気で六日間を楽しく過ごすことができた。その反面、参加人数が定員を割ったため、当初随行するはずであった添乗員が急につかなくなり、現地での諸手続きは私がすることになった。当然、今まで海外には旅行者としてしか行ったことがない。緊張の連続で、不手際も多く、参加された皆様にはご迷惑をおかけした。そのためか、夜になるときまって鼻血が出て、団長に「もっと気楽にやりなさい」と励まされたこともいい思い出になった。

第一回海外視察研修はまず成功裏に終了できた。普通の観光旅行と違い、かなりきつい日程だったと思うが、参加者の皆さんから「充実した内容でよかった」と言って頂いた。龍谷顕真会では今回の成果を踏まえて、今後第二回、三回の視察が企画されることと思う。事務局としても、会員の先生方のご意見を取り入れながら、寺院や議会での活躍に参考になる、より内容ある視察が実施できるよう期待している。そのときには、多くの皆さんにご参加頂きたい。

平成五年度 会員活動報告

会員47人のうち39人から活動報告書の提出がありました。なお、首長は①欄は空白となります。また、回答の記載がない場合は空欄としました。(この報告書は、平成六年三月二十日現在のものです)

- ①所属委員会
- ②本年度取り組んでいる事柄
- ③今後取り組みたい課題
- ④抱負・モットーなど
- ⑤海外視察を実施した場合、参加するか・参加しないか
- ⑥その他提言など

- ① 榎 大亮 北海道 南富良野町長 6期
北海道・上川南・玄正寺住職
- ② 直径30センチメートルのからまつ材によるログハウス建設(30人宿泊可能、50人(70人が食事のできるレストラン))
- ③ 無農薬農産物の生産。健康食品の生産
- ④ 自然を大事にしての町づくり
- ⑤ 参加しない

- ⑥ 桜田 正弘 北海道 北見市議 6期
北海道・北見東・本覚寺衆徒
① 総務教育常任委員会
② 駅周辺再開発事業の早期着工
③ 情報公開制度の定着化
④ 監査委員としての行政監査のルールづくり
⑤ 中央1極集中を解消し、地方文化の発展
⑥ 高速交通体系の整備
⑦ 継続は力なり
⑧ 誠実
⑨ 現時点ではわからない
- ① 柴田 薫心 北海道 札幌市議 4期
北海道・札幌・宝流寺住職
② 建設常任委員、石狩西部水道事業協同組合議員、交通対策委員
③ 自民党道連活性化について
④ ドームの建設

- ④ 初心忘れず
⑤ 参加する
⑥ 萱森 真雄 秋田県 横手市議 1期
東北・秋田・専光寺衆徒
① 教育民生委員会
② 老人ホームの施設長をしております関係上、老人福祉諸施策について
③ 医療のネットワーク化、ターミナルケア等
④ 全国に誇れる地域福祉のネットワーク化に努力したい
⑤ 現時点ではわからない
⑥ 本山も実験的に施設を持って、今後の国の方向に提言すべき(特にターミナルケア)
⑦ 花木 肇正 富山県 大島町議 4期
高岡・射水・称念寺住職
① 総務常任委員会
② 議会運営の進め方と会派の問題
③ 財政をみながら住民ニーズをいかに政治に生かし得るか
④ 信頼と信念
⑤ 現時点ではわからない
⑥

中村 幸教 石川県議 5期

石川・島崎山・光徳寺衆徒

① 土木委員会

②

③

④

⑤ 現時点ではわからない

⑥

嶋田 政憲

福井県 勝山市議 3期

福井・福井・本覚寺衆徒

① 建設委員会

② 道路網の整備(中部縦貫道路の早期着工)

③ 農村部への下水道の導入、青少年の教育問題

④ 誠実、実行、対話

⑤ 現時点ではわからない

⑥

中田 宗人

岐阜県 明宝村議 4期

岐阜・郡上・円光寺住職

① 総務文教委員会、観光開発特別委員会

② 自然と調和した観光開発の推進

③ 高齢化社会に対応できる福祉活動の推進

④ 宗教人としての自覚を持って政治活動を行う

⑤ 現時点ではわからない

⑥

松井 靖典 岐阜県 河合村長 1期

岐阜・飛騨・願教寺住職

①

② 物質文化の限界の中で人間の幸福感とは何かを力説している

。河合中学校々舎改築、中学校2年生全員をオーストリア研修派遣、匠ドーム建設、アートマンスリー創設

③ 人間の幸せはその人の心の持ちようであり、そのことを機会あるごとに施策を通して浸透させていきたい

融和

④

⑤

⑥

参加しない

融和

④

⑤

⑥

山田 真澄

三重県 東員町議 9期

東海・員弁・浄源寺住職

① 総務財政常任委員会

② 17年計画を12年間で完成できるように計画を変更することができた。財源確保に基金取りくずしを進めている

③ 町内に東海環状道のインターができるので、地域の振興を

④

⑤

⑥

現時点ではわからない

安藤 智純 三重県 尾鷲市議 3期

東海・勢南・光円寺住職

①

② 総務常任委員会、議会運営委員会、環境対策特別委員会、文化会館建設特別委員会

会

③ 火力発電立地にかかわり、当初の環境アセスメントと運開後の測定調査及びそれ

にもとづく学者・専門家の分析結果報告をうけ、現況把握・分析と将来の課題との対策研究について

④

⑤

⑥

過疎と高齢社会の急速化の現状をふまえ、市立総合病院の増改築及び福祉施策の先取りについて。ポラントピアの緊密な組織化及び実践的な取り組み。

④ 今の時の道徳、おのれが分を思量せよ

⑤ 現時点ではわからない

⑥ 顕真会の社会的実践をどう構想するのだろうか

。21世紀に向けて僧侶として、また、行政・自治体にかかわる議員として宗祖のお心をどのように実践していくのか。

①

②

③

④

⑤

⑥

北川 真道

滋賀県 秦荘町長 2期

滋賀・愛知上・浄甫寺住職

①

②

福祉、文化、芸術の向上。歴史文化資料館の開館(工費12億円)。文化ホール・図書館、生涯学習情報ネットワークス

テム建設中(工費24億円)

- ③ 引きつづき福祉センターの建設と福祉の充実

- ④ ⑤ ⑥ 現時点ではわからない

堅田 昭磨 滋賀県 高島町議 1期
滋賀・高島・慈敬寺住職

- ① 産業土木委員会
② 私費により健全な子供を育てるため、3千平方メートルの土地に子供の森設置。
③ 右記事業完成の上、山村であるため都会の子供との交流を実現したい
④ 36年間の公務員生活を議会に生かしたい。
⑤ 参加する
⑥

黒田 昭信 滋賀県議 1期
滋賀・犬上南・教得寺住職

- ① 総務企画常任委員会、文化体育特別委員会、信楽高原鉄道対策特別委員会
② 地方財政、景気対策
③ びわ湖汚染防止について、びわ湖浄化対策
④ 「和」と共に、しっかりとした人生
⑤ 現時点ではわからない
⑥

梅津 正純 滋賀県 山東町議 1期
滋賀・山東・宝安寺住職

- ① 厚生常任委員会
② 老人福祉、老人ホーム及び在宅老人の支援
。町民の健康問題、健康祭

- ③ 教育と社会福祉
④ ぬくもりと思いやりのある社会
⑤ 現時点ではわからない
⑥

西殿 香連 和歌山市議 9期
和歌山・和歌山・西正寺住職

- ① 経済企業委員会
② 「世界リゾート博」の成功
③ 公共下水道の拡大充実
④ 無常の認識、ケ・セラ・セラ
⑤ 現時点ではわからない
⑥

和田 秀教 和歌山市議 5期
和歌山・和歌山北・正光寺衆徒

- ① 建設消防、同和対策
②
③
④
⑤ 現時点ではわからない
⑥

永原 智徳 和歌山県 由良町議 2期
和歌山・日高・教専寺住職

- ① 厚生文教委員会
② 福祉センター(データービス)施設建設
7月1日オープン、ゴルフ場
老人ホーム施設、リゾート

- ③ 高齢者社会に対応
④ 参加する
⑤
⑥

波多 正文 兵庫県 尼崎市議 1期
兵庫・阪神南・正光寺住職

- ① 民生常任委員会
② 福祉、教育、街づくり
③
④
⑤ 現時点ではわからない
⑥

谷川 正秀 兵庫県 尼崎市議 2期
兵庫・阪神西・万徳寺衆徒

- ① 文教常任委員会
② 尼崎の南部活性化(大阪湾ベイエリア開発)について
。若者のまちづくりについて
③ 教育問題
④
⑤ 現時点ではわからない

⑥

小泉 玲子

兵庫県 御津町議 1期
兵庫・網干・浄泉寺衆徒

① 福祉厚生常任委員会、議会報特別委員
福祉センターの建設

② 活力ある町づくり、福祉活動の推進

④ 。住民の声に耳を傾け、パイプ役をつとめること

⑤ 。議会の報告を住民に――
⑥ 現時点ではわからない

竺川 紹隆

島根県 金城町議 3期
山陰・福屋・浄光寺住職

① 経済委員会

② 少子化対策

③ 農業振興、人材育成

④ 政教の問題

⑤ 現時点ではわからない

⑥

松元 顕正

島根県 仁摩町議 3期
山陰・仁摩・松源寺住職

① 産業、厚生委員会

②

③

④

⑤ 参加しない

⑥

的場 利健

島根県 江津市議 1期
山陰・江津・西楽寺住職

① 民生水道委員会

② 高齢者問題

③ 江津市の高齢者が市民の21%以上で、特にこの問題に取り組みたい

④ 政治はみんなのために
⑤ 現時点ではわからない

⑥

藤谷 一剣

島根県 匹見町議 1期
山陰・益田・連長寺住職

① 総務委員会

② 高齢化の進むなか、老人福祉のあり方、進め方

③

④

⑤ 参加する

⑥

大前 勝乗

香川県 坂出市議 6期
四州・飯山北・善光寺住職

① 総務委員会、鉄道高架促進特別委員会

② 予讃線坂出駅付近連続立体交差事業は、昭和63年12月に建設省より都市計画事業

の認可を受け、以来、起業地内の用地買収に努め、仮線敷設にかかる用地買収を

本年2月にすべて完了した。本年度は、仮線に切り替えし高架本体工事に着手する一方、側道工事にも着手する

③ 四国の新しい玄関都市にふさわしいまちづくりのため

。平成9年度末までに完成する坂出新駅にエレベーター及びエスカレーターの併設、市民要望に叶う高架下利用計画の策定

。連続立体交差事業の進捗に応じた、坂出駅北口再開発計画及び南口駅前広場整備計画の早期事業化

④ 現時点ではわからない

⑤

⑥

④

⑤ 現時点ではわからない

⑥

櫻井 賢三

広島県 湯来町議 2期
安芸・佐伯奥・正向寺住職

① 建設経済委員会

② 町の活性化、道路の整備、社会福祉センターの建設

③ 物質文明の世の中に心の糧を。社会福祉の充実

④ 親鸞聖人の教えを徹底流布したい

⑤ 参加する

⑥

⑦

⑧ 本気で本願寺も支援してほしい

桑原 孝顕

山口県 田布施町議 6期
山口・熊毛中・龍巖寺衆徒

① 総務委員会

②

③

④

⑤ 参加しない

⑥

久保 玄爾

山口県 防府市議 4期
山口・防府・信行寺住職

① 教育民生委員会

② 老人保健福祉計画

③ 環境問題（ゴミ、川、廃棄物）

④

⑤ 参加する

⑥

秋里 勝道

山口県 美東町議 3期
山口・美祢東・明楽寺住職

① 総務委員会

②

③

④

⑤ 参加する

⑥

藤谷 光信

山口県議 1期
山口・岩国・教蓮寺住職

① 文教警察委員会

② 県立文化ホール建設、米軍岩国基地沖合
移設、交通網整備

③ 公害問題

④ 市民の立場に立った行政

⑤ 参加する

⑥

川越 証真

山口県 美祢市議 6期
山口・美祢西・西音寺住職

① 教育福祉委員会

② 住宅団地造成、美祢西インター建設（中
国縦貫道）

③ 産業地域振興、道路整備

④ 政治に宗教心を、真実（まことの心）で
ありたい

⑤ 参加する

⑥

荒木 行也

福岡県 高田町議 2期
福岡・三門南・阿弥陀寺住職

① 文教厚生常任委員会

② ゴルフ場建設についての無農薬及び下流
域水害問題、濃施山公園建設、土地改良
事業後の地域集落環境整備等

③ 下水道整備、文化会館建設、若者が地方

で就職される企業の誘致

④ 清潔、信念、実行

⑤ 参加する

⑥

國東 利行

大分県 宇佐市議 2期
大分・宇佐・極楽寺住職

① 文教社会委員会

② 民主教育を守る

③ 文化行政の推進

・反動的教育行政を少しでもくいとめる
・教職員と宗教について語る場を多くつ
くりたい

④ 生活の中にお念仏を

⑤ 参加しない

⑥

衛藤 龍天

大分県 久住町長 3期
大分・岡・安照寺住職

①

② 山と高原を活かしたリゾート開発

③ 地球にやさしい環境村。強く、やさしく、
美しい町づくり

④ あせらず、気負わず、あるがままに

⑤ 参加しない

⑥ 美しい自然の中に生きることが最も価値
あることだが、これからは最も高価なも
のとなる

荒木 月秋

佐賀県議 2期
佐賀・松浦・尊光寺住職

① 産業常任委員会、環境・交通特別対策委員会

② 都市一極集中から地方化時代に向けて地域住民の意識の高揚と地域の問題、課題の整理とその取り組みについて
イ、諸団体との集会活動
ロ、地域振興促進の組織づくり

③ 環境、福祉、文化
④ 子どもらに未来を、若人に夢を、老人にやすらぎを

⑤ ⑥

前原 弾郎
熊本県 深田村長 4期
熊本・球磨・善正寺前住職

② ① 土地改良事業、交流事業（農村と都市間）
ゴルフ場開設

③ 都市との交流
④ 村民の声に耳をかたむけ、現場を大切に
する

⑤ ⑥

佐々木 一法
熊本県 五和町議 2期
熊本・天草下・西明寺住職

① 総務委員会
② ゴルフ場誘致（用地交渉等）、人づくり（教育関係）

③ 青壮年に活力を与へうる町づくり
④ ⑤ ⑥ 参加しない

尾前 新了
宮崎県 椎葉村議 4期
宮崎・椎葉・浄行寺住職

① 総務委員会
② 国保病院建設（人と自然の共生する環境づくり）
③ 観光・リゾートの振興、過疎対策と農家の花嫁対策

④ 青少年から高齢者まで心の豊かさを実感できる潤いのある村づくり
⑤ ⑥ 現時点ではわからない

平成五年度 総会報告

一、日時 5月26日（水）

午前9時から午後1時まで
二、場所 宗務総合庁舎3階和室・洋室
三、開会式 勤行・讃仏偈・総長挨拶
代表世話人挨拶

四、総会

① 議長選出・挨拶 笠川紹隆
② 平成4年度決算報告（承認）
③ 平成4年度事業報告（承認）
④ 平成5年度予算案（可決）
⑤ 平成5年度事業計画案（可決）
⑥ 海外視察計画について
5年度内に第1回海外視察を実施する。期間はアンケートをとって決定する。（可決）

⑦ 世話人の選出
楯 大亮（北海道南富良野町長）
黒田昭信（滋賀県議）
西殿香連（和歌山市議）

笠川紹隆（島根県金城町議）
大前勝乗（香川県坂出市議）
藤谷光信（山口県議）
荒木行也（福岡県高田町議）
前原弾部（熊本県深田村長）

以上8人を選出
⑧ 代表世話人の選出
川越証真（山口県美祢市議）
⑨ 監査員決定

五、講演

山田真澄（三重県東員町議）
永原智徳（和歌山県田辺町議）
「はざまを生きる…市町村時代の幕開けを迎えて…」
龍谷大学教授 志水宏行講師
六、座談会 テーマ「僧侶の首長・議員とし

七、閉会式
 座長 竺川紹隆
 代表世話人挨拶
 事務局長挨拶
 て思うこと」

以上



風景會總

平成五年度 世話人会報告

(第一回)

一、日時 5月25日(火)

午後3時から5時まで

二、場所 宗務総合庁舎会議室4

三、内容 ①平成4年度決算報告
 ②平成4年度事業報告
 ③平成5年度予算案
 ④平成5年度事業計画案
 ⑤総会の運営について
 ⑥海外視察計画について
 ⑦世話人、代表世話人、会計監査員の改選について
 ⑧その他

(第二回)

一、日時 11月17日(水)

午後3時から4時30分まで

二、場所 宗務総合庁舎会議室4

三、内容 ①平成5年度事業中間報告
 ②平成5年度会計中間報告
 ③第1回海外視察報告
 ④平成6年度事業計画について
 ⑤平成6年度総会・20周年記念行事について

会員の動静

(新入会員)

萱森真雄(秋田県横手市議)

東北・秋田・専光寺衆徒

櫻井賢三(広島県湯来町議)

安芸・佐伯奥・正向寺住職

(退会会員)

林川 昭(福岡県・豊前市議)

北豊・上毛・明泉寺住職

平成5年1月12日ご逝去



懇親會にやかにな